

令和6年度

学校教育計画

大阪府立城東工科高等学校

目 次

第1 学校教育活動の方針	2
(1) 学習指導の方針	2
(2) 特別活動の方針	2
(3) 道徳教育及び生徒指導の方針	2
(4) 進路指導の方針	2
(5) 人権尊重の教育の方針	2
(6) 健康管理と指導の方針	2
(7) 学校組織の運営方針	3
(8) 教員の研修方針・研修計画	3
第2 校務分掌	4
(1) 校務分掌等組織図	4
(2) 校務分掌、学年主任、ホームルーム担任等一覧表	5
(3) 生徒会活動、部活動担当者(顧問)一覧表	6

第1 学校教育活動の方針

(1) 学習指導の方針

- ① 少人数指導や習熟度別指導を重視し、常に学習状態を観察・把握し、多様化する生徒の実態に応じた指導計画に基づいて、学習指導と生徒指導の両面から教育効果の向上を図る。
- ② PBL（課題解決型学習）などにより生徒自らが考え発想力や想像力を持ってチームで新しい価値観を生み出すことのできる人材育成を図る。
- ③ 指導計画や教材の選定にあたっては、生徒の興味・関心、能力・適性、進路希望等を考慮し、又各教科内外の連絡を密にして全体の学習効果を高める。

(2) 特別活動の方針

明るく健全な集団活動を通じて、好ましい人間関係の醸成と基本的モラルや社会生活上のルールの習得を図り、集団や社会の一員としての望ましい資質や自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己と他者の個性を等量し、自己実現を図る能力を養う。

(3) 道徳教育及び生徒指導の方針

道徳教育および生徒指導については、市民社会のルールを守る実践力や社会に貢献しようとする意欲に関する指導等を教育活動全体を通じて行うよう努める。

生徒指導の要諦は外からの適切な規制と、生徒自身の欲求を見極めながら生徒と教員の血の通った対話を深めることである。現象面においてのみ対処することなく、家庭・保護者の協力を求め指導するとともに、生徒自身の中から向上の意欲を引き出すよう努める。

また、生徒の非行防止・中途退学防止の観点から、生徒に自分自身を「かけがえのない存在」として実感させ、学校生活の充実を期するよう努める。

(4) 進路指導の方針

進路を取り巻く環境が激変する状況の中で、生徒が「生きる力」を身につけ、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力やしっかりとした勤労観、職業観を身につけ、それぞれが直面するであろう様々な課題に柔軟にかつたくましく対応し、社会人・職業人として自立していくことができるように、生徒一人一人に応じたきめ細かい進路指導を行う。

(5) 人権尊重の教育の方針

憲法、教育基本法、本校教育目標に基づいて、生徒の発達に阻害的要因となるような差別や人権侵害を明らかにし、その是正のための学習と実践を通じて「被害者にも加害者にもならない」、民主主義を確立できる人間形成を基本方針とする。

(6) 健康管理と指導の方針

- ① 家庭や地域社会と連携して、望ましい生活習慣の形成を図るとともに、健康を成立させている要因についての理解を深め、生涯を見通し、たくましく生きるための健康、体力づくりができる能力を養うよう努める。
- ② 保健室の健康相談活動をより充実させるなど、あらゆる機会を通して健康教育の推進を図る。
- ③ 新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、結核等の感染症に対する予防策を講じるとともに、危機管理体制を充実させ、心身の健康の保持増進を図る。
- ④ 性教育やエイズ教育の推進及び覚醒剤等の薬物乱用防止に関する指導の充実を図る。
- ⑤ 生徒保健委員会並びに生徒清掃管理委員会のより一層の活性化を図り、生徒自らが主体的に健康や体力づくりの保持増進に取り組むよう努める。
- ⑥ 学校医の指導を仰ぎ、生徒の健康相談活動を充実させ、生徒の心身の健康の保持増進に努める。
- ⑦ 教育相談活動の充実を図る。

(7) 学校組織の運営方針

校長のリーダーシップのもと、R+PDCAサイクルを確立するとともに教職員の高位平準化を図り、組織的に学校運営を進める。また、教頭と教職員との間に、校務の要となる首席と指導教諭（R4年度は不在、特任教諭で代替）を置き、適切かつ迅速に対応できる体制を整える。教職員はそれぞれの校務分掌組織を整理し、各分掌の年間努力目標を具体的に設定するとともに、機敏で効率的な校務運営にあたる。

(8) 教員の研修方針・研修計画

①研修方針

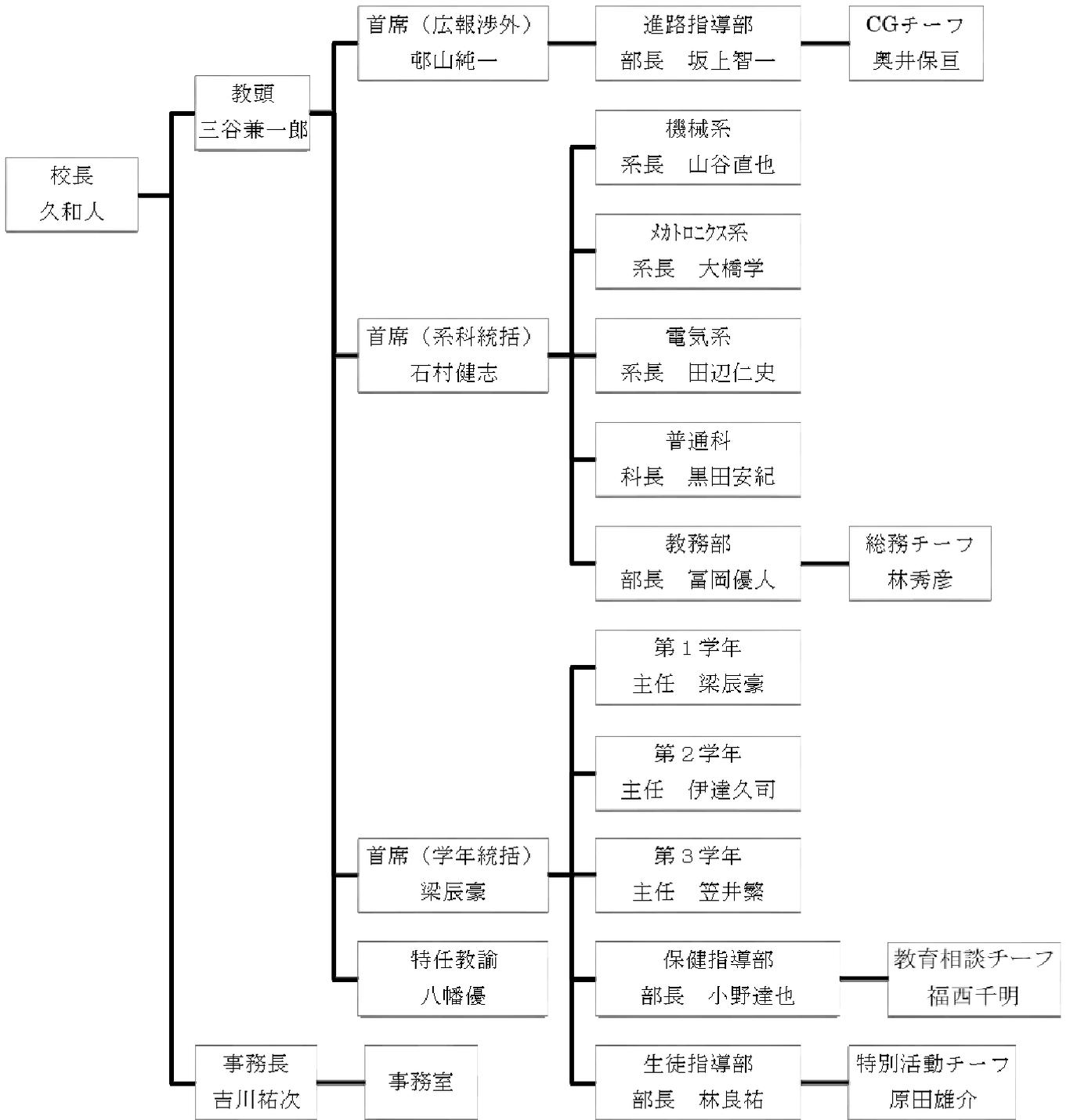
- ・教科指導の専門的知識・技能はもとより、変化の時代を生きる社会人に求められる資質をも合わせて向上させる観点から、自己の研鑽に励むとともに、府教育センター等で実施する研修に積極的に参加するよう努める。
- ・今後の教育課程の在り方や授業の研究など、本校の実態に応じた校内研修を充実するよう努める。
- ・各種研修等を受講した教職員を講師とするなど、研修成果が学校全体の教育活動に還元されるよう校内研修の充実を図る。
- ・外部から講師を招聘するなど、実施内容・形態を工夫するよう努める。

②研修計画

月	日	研 修 会 等	内 容
4	中旬	各教科研究会	教科毎に基礎学力の調査を行い、それを基にして指導法、普通科目と専門科目との関連・調整について研究討議
4	下旬	初任者研修	教務・進路・生指関係を中心に学校運営全般についての研修 各教科の指導計画を立案
5	中旬 ～	初任者研修	上記を基にして研究授業、研究協議を実施
6	中旬	教科担当者と学級担任との懇談会	個々の生徒の教科指導、生活指導上の問題点を探るとともにクラス、学年の問題点を明らかにし、指導法について意見交換を行う。
6	中旬	各教科研究会	教育課程の検討
6	下旬	授業見学月間	教員相互の授業見学
7	中旬	各教科研究会	4月から7月の総括、反省の意見交換
8	下旬	校内人権教育研修	人権に関する研修
9	上旬	各教科研究会	2学期の指導計画、研修計画の手直し、指導方法、到達度の低い生徒の指導について研究、討議
10	中旬	各教科研究会	同上、教科毎の研究授業、評価方法の研究
11	上旬	教科担当者と学級担任との懇談会	教科指導、生活指導を中心に交流し、学級及び個別指導のための情報交換を行う
11	中旬	授業見学月間	教員相互の授業見学
12	中旬	校内人権教育研修	人権に関する研修
12	下旬	各教科研究会	9月～12月の総括、反省の意見交換
2	中旬	総合発表会	初任者による研修成果報告会
2	中旬	各教科研究会	到達度の低い生徒(欠点保持者等)の学年末の指導や評価について討議
3	中旬	各教科研究会 各部会	各教科、各部の会合を開き、本年度の反省、次年度の年間指導計画、研修計画を審議

第2 校務分掌

(1) 校務分掌等組織図



各種委員会、会議等

学校運営協議会	運営委員会	職員会議	校務運営推進会議
予算調整委員会	選抜委員会	安全衛生委員会	いじめ対策委員会
支援委員会	国際交流委員会	人権教育検討委員会	
食物アレルギー対応委員会	オンライン委員会	GIGA スクール委員会	
分掌長会議	系科長会議	学年代表会議	広報対策会議 他

(2) 校務分掌、学年主任、ホームルーム担任等一覧表

令和6年度校務分掌一覧								令和6年4月1日	
								敬称略・順不同	
分掌	生指		教務		進路		保健		
人数	18 (18)		14.5 (16.5)		13 (14)		9.5		
部長	林 良祐		富岡 優人		坂上 智一		小野 達也		
チーフ	(特活チーフ) 原田 雄介		(総務チーフ) 林 秀彦		(キャリア教育チーフ) 奥井 保亘		(教育相談チーフ) 福西 千明		
普通科	◎林 良祐	○原田 雄介	大西 俊一	平尾 方子	○奥井 保亘	松永 悠聖	山平 優子	木村 文香	
	平川 和義(人副)	村木 努	溝腰 桃子		前田 陽菜				
	辻尾 倫子(人主)	梅田 裕也							
	明松 健太	李 由香							
	吉村 晨		[黒田 安紀]						
M系	砥田 翔		◎富岡 優人	上農 真紀雄	中井 孝昌	吉田 雄介	◎小野 達也	△風能 敏雄	
			木村 大貴		濱野 紗梨				
R系	長野 英生		△樋口 伸之		◎坂上 智一		○福西 千明	伊藤 慎祐	
					[大橋 学]		長峯 優治		
E系	中野 将治		○林 秀彦	石塚 直博	福田 敏	福永 輝夫			
			大石 高史	中田 浩史	小林 登				
			挟間 浩史						
			[田辺 仁史]						
1年	吉田 泰盛	岡本 宏太	青川 敏也		針原 弘樹		森田 福太郎		
2年	西川 智博	葦苺 正広	才田 莉緒		中田 雅士		町田 進		
3年	高橋 夢人	小林 竜士	樋山 良世		南畑 好美		是永 一		
学級担任表									
1年	1組	2組	3組	4組	5組				
	吉田 泰盛	森田福太郎	岡本 宏太	針原 弘樹	青川 敏也				
2年	機械系		メカトロニクス系	電気系					
	機械技術専科	機械技術専科	ロボット工学専科	電気技術専科	電子情報通信専科				
	機械設計専科	機械設計専科	制御システム専科						
	1組	2組	1組	1組	2組				
	葦苺 正広	才田 莉緒	中田 雅士	町田 進	西川 智博				
3年	機械系		メカトロニクス系	電気系					
	機械技術専科	機械技術専科	ロボット工学専科	電気技術専科	電子情報通信専科				
	機械設計専科		制御システム専科						
	1組	2組	1組	1組	2組				
	高橋 夢人	樋山 良世	南畑 好美	小林 竜士	是永 一				
科・系長					職会司会進行係				
普通科	機械系	メカトロニクス系	電気系		教頭	首席			
黒田 安紀	山谷 直也	大橋 学	田辺 仁史		*書記は運営委員以外で持ち回り				
学年主任					首席		(特任)教諭		
1年	2年	3年		広報<進路>	系・科<教務>	学年<生指・保>			
梁 辰豪	伊達 久司	笠井 繁		邨山 純一	石村 健志	梁 辰豪	八幡 優		
普通科 教科主任									
国語	社会	数学	理科	保健体育	芸術	英語	家庭		
才田 莉緒	高橋 夢人	奥井 保亘	森田福太郎	村木 努	辻尾 倫子	青川 敏也	南畑 好美		
係等									
PTA		HP等情報発信推進		人権(生徒指導部)		支援Co・教育相談(保健部)			
(主)大西 俊一	(副)中田浩史	林 秀彦		(主)辻尾 倫子	(副)平川 和義	(支)福西 千明	木村 文香		
					(副)森田福太郎				
道徳教育推進教師									
(主)辻尾 倫子	(副)平川 和義								
△…再任等(0.5)									

(3) 生徒会活動、部活動担当者（顧問）一覧表

① 生徒会係 原田

② 部活動担当者（顧問）一覧表

令和6年度 クラブ顧問一覧 敬称略								
運動系					文科系			
クラブ名	主顧問名	顧問名			クラブ名	主顧問名	顧問名	
硬式野球部	林 良祐	村木	石村		放送部	大橋 学	木村大	前田
軟式野球部	高橋 夢人	青川	狭間		園芸部	坂上 智一	中野	風能
バスケットボール部	岡本 宏太	平川	濱野		ロボット部	田辺 仁史	中田雅	小野
バレーボール部	才田 莉緒	山谷	松永		鉄道研究部	林 秀彦	中田浩	
サッカー部	福田 敏	小林登	(笠井) (梅田)		自然科学部	森田 福太郎	樋山	
卓球部	西川 智博	大西	針原		写真研究部	福永 輝夫	山平	木村文
柔道部	梁 辰豪	明松	溝腰		自動車部	小林 竜士	(邨山)	
自転車競技部	是永 一	石塚			漫画研究部	福西 千明	吉田泰	
陸上競技部	黒田 安紀	砥田			総合音楽部	邨山 純一	吉村	
水泳部	針原 弘樹	笠井	伊藤慎		図書部	平尾 方子	八幡	
テニス部	奥井 保亘	梅田	伊達		書道部	辻尾 倫子	南畑	李
山岳ワングル同好会	上農 真紀雄	長峯	樋口		吹奏楽部	葦苅 正広	吉田雄	町田
ラグビー同好会	原田 雄介	中井			模型同好会	長野 英生	富岡	大石
空手・剣道部	特活預かり							